

11月11日は
介護の日



介護のこと、いろいろ知ろう! 覚えよう!

第四中学校2年生のジュニア記者が訪ねたのは、「特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川」。取材日はちょうど、併設するデイサービスのプログラムで敬老会が行われていて、施設内はとてにぎやかでした。ジュニア記者たちの緊張もほぐれたところで、取材スタートです。

疑似体験
グッズで

知る

高齢者疑似体験教材セットを使って、高齢者の日常生活を体験! 視界が狭く見えにくくなる「ゴーグル」、耳が聞こえにくくなる「イヤードیفンダー」、重り付きの「ベスト」を装着します。介助者は介助される人を段差などの危険から守るため、手を添えてサポートしました。

check!

認知症サポーターを知ってますか?



認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族に対して温かい目で見守り、必要な時にちょっとしたお手伝いをする「応援者」のことです。認知症の基礎知識と対応方法を学ぶ講座を受講すると、サポーターの目印となるオレンジリングがもらえます。「認知症になっても安心して暮らせるまち」を一緒に作りましょう。

なお、夏休みには、小・中学生向けの「認知症サポーター養成講座」も予定しています。

詳しくはこちらへ
「認知症サポーター養成講座」
あらみいの知って安心認知症講座



問合せ 高齢者福祉課 内線2667

学ぶ

施設長さん
のお話を
聞いて



特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川の施設長・伊藤月子さんに、ジュニア記者たちが疑問に思っていることや介護について知りたかったことを取材しました!

目の見え方、
耳の聞こえ方は
普段と比べて
どう?



前園さんは「耳が聞こえにくいので、自分の声の大きさが分からないことが不便だったそうです。五月女さんのようにひじを支えてサポートすると、体が安定して歩きやすくなります」

音が遠くから聞こえて
聞き取りづらい!
視界はぼんやり
しているよ

左 五月女空さん
右 前園朱里さん

視界が狭くて
歩みにくいね。
特に段差が怖い!



「階段は上りよりも下るときが怖い」と阪本くん。腰をかかめて、足で段差を探りながらゆっくり下ります。サポートするときは、よく聞こえるように大きめの声で話しかけましょう

疑似体験
セットを
着けた感想は?



左 阪本尊くん
右 望月亮汰くん

体験する

施設で

脚力が弱って一人で移動ができない人を、ベッドから車いすへ移乗する介助です。最初に両足をゆっくりとベッドから下ろして、座った状態に。脇の下から両腕を入れて体を支え、くると回して車いすに座ってもらいます。両足を車いすのフットレストに乗せて完了です

移乗介助



送迎介助



デイサービスの利用者を施設の車で送迎します。車の後部には電動のリフトが付いていて、体の不自由な人が車いすのまま車内に移動できるようになっています。昇降中の事故などが起こらないよう、車いすをベルトやフックでしっかりと固定し、動かす時には必ず声をかけます

check!

介護保険について

介護保険は40歳以上の方が加入する社会保険です。介護や支援が必要と認定されたときは、前年の所得などに応じて1~3割の自己負担で介護サービスを受けることができます。残りの7~9割は加入者が納める保険料と、国・都道府県・区市町村の税金から支払われます。介護は誰にとっても身近なもので、介護保険は社会全体で支える仕組みになっているのです。



食事介助



自分で食事ができない利用者の介助をします。一口で食べられる量や食事のペースは人それぞれなので、相手の表情などをよく見ながらサポートをすることが大切です

着替え介助



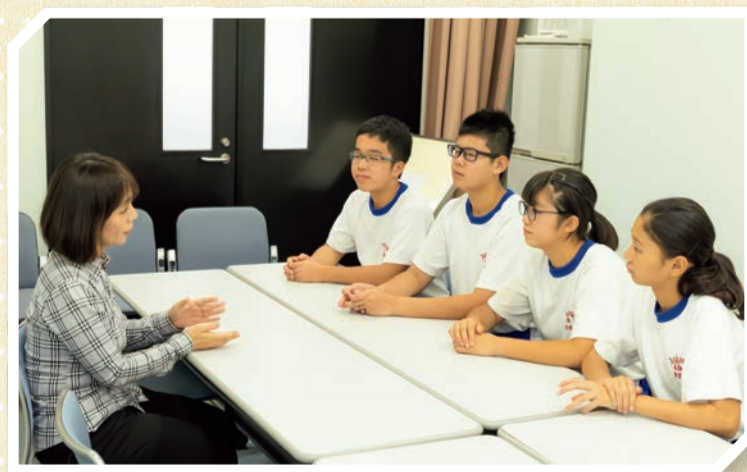
2人1組になり、着手を動かすことができない人の着替えを想定した介助を体験。着るときは動かないほうの手からそでを通し、脱ぐ時は動くほうの手から脱ぐのが基本です

Q: この仕事をしていてうれしかったこと、悲しかったことを教えてください。

A: うれしいのは利用者の方に「ありがとう」と言ってもらえた時や、皆さんの笑顔が見られることです。お別れの時がきてしまうのは悲しいですが、好きな仕事なので楽しいことのほうが多いです。

Q: 介護する上で大切なことは何ですか?

A: 常に相手の立場に立って考えること。「お世話をしている」ではなく「お世話をさせてもらっている」という謙虚な気持ちを忘れないよう心がけています。



初めて介護のある生活を体験したジュニア記者たち。「高齢者の生活は大変だと思った」、「街で困っている高齢の方を見かけたら助けになりたい」などの感想ができました

介護というお仕事

現在の日本は高齢者が増える一方、働く世代の人数が減ってきており、介護の現場でも人手不足が深刻な課題となっています。介護の仕事は、人と心のつながりをきずいていくやりがいのある仕事です。介護の仕事に興味を持った人は、下のサイトをのぞいて見てね。

詳しくはこちら
東京都社会福祉協議会
東京都福祉人材センター



現場で活躍する 介護ロボット

最近介護の現場にもロボットが導入され始めています。人の話し相手になる「コミュニケーションロボット「PALRO」や、人の動作を補助するために装着して使う「パワーアシストロボット」など、さまざまな種類のロボットが登場しており、介護現場で今後の活躍が期待されています!



コミュニケーション
ロボット「PALRO」